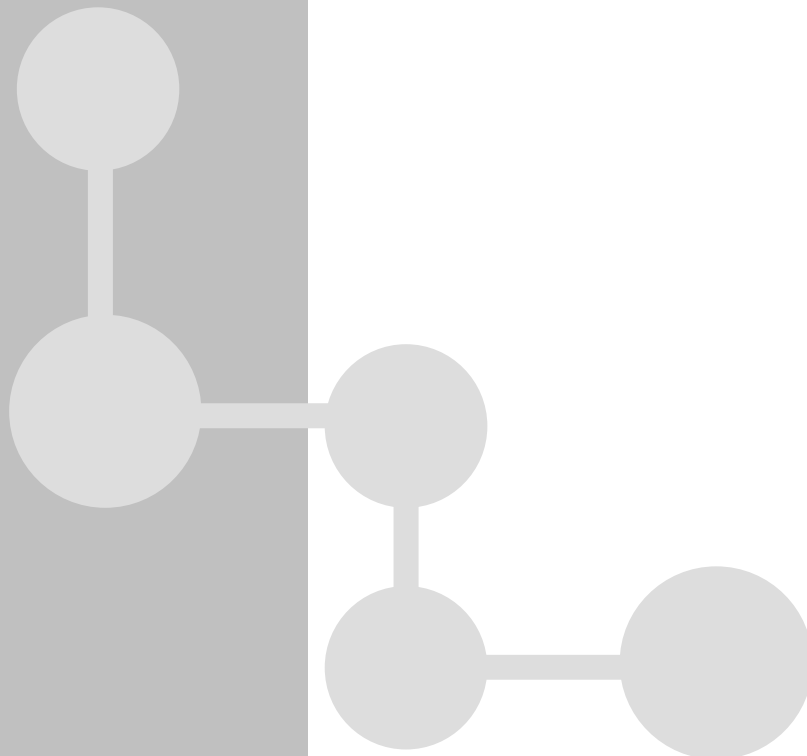




CASSIOPEIA

DT-5100 シリーズ

Difference between
N50SCA and M50SC



変更履歴

No	Revision	更新日	項	改訂内容
1	1.00	05/4/21	初版	初版発行
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

目次

1	概要	1
1.1	製品の特徴	1
2	ソフトウェア構成	2
2.1	本体内蔵ソフトウェア	2
2.2	BLUETOOTHライブラリ	2
3	機能仕様	3
3.1	BLUETOOTH機能	3
3.2	フォント	4
3.3	SERVICE PACK2、及びパッチファイルのOS取込	4
3.4	APPLICATION PROGRAM (CASIO ORIGINAL APPLICATION) / TOOL	4
3.5	参考資料	5

1 概要

本解説書は、ハンディターミナル DT-5100M50SCA の DT-5100M50 シリーズと異なる部分について記述します。

1.1 製品の特徴

- 802.11b無線LAN干渉下でのBluetooth運用(ヘッドセット、Bluetooth V1.2対応プリンタ)
Bluetooth V1.2 の AFH 機能

- DT-5100の特徴を継承
以下の DT-5100 の特徴を継承します。
 - 小型、薄型、軽量設計
 - 小型バーコードスキャナ内蔵
 - ソリューション提供
 - カメラ機能

- DT-5100 ServicePack2やパッチファイルのOS取り込みによる品質の向上
2004年6月までにリリースされた ServicePack2 と Patch004 までのアップデートファイルを、OS に取り込むことによる OS 品質の向上と RAM 使用量の削減を行っています。

- フォントのサブセット化
容量削減のため従来の MS ゴシック & MS P ゴシック & MS UI Gothic のサブセットに変更しています。

2 ソフトウェア構成

DT-5100M50SCA のソフトウェア構成について、DT-5100M50 シリーズと異なる部分について説明します。

2.1 本体内蔵ソフトウェア

DT-5100M50 シリーズから変更となる本体 ROM 内蔵のアプリケーション、及びドライバは下記の通りです。

分類	ソフトウェア名	機能
Driver	Bluetooth プロトコルスタック	Bluetooth Ver1.2、AFH、ヘッドセット対応
Font	MSGOTHIC	12,13,15,16 PPEM ビットマップ範囲
CASIO Apl	Bluetooth 接続ツール	デバイス探索、接続
	自動復旧ツール	自動復旧ツールとインストーラ

2.2 Bluetooth ライブラリ

Bluetooth 機器を制御するために提供する C ライブラリです。Visual Basic.NET、C#.NET から利用することができます。

ライブラリ関数等の詳細については、ライブラリマニュアル“Bluetooth ライブラリ”の DT-5100SCA 用を参照して下さい。

3 機能仕様

DT-5100M50SCA の機能仕様について、DT-5100M50 シリーズと異なる部分について説明します。

3.1 Bluetooth 機能

■ 対応プロファイル

ユーザアプリケーションで使用する Bluetooth ライブラリと、本体 OS に内蔵される Bluetooth 接続ツールについて、対応するプロファイルは以下の通りです。

プロファイル名	ライブラリ	接続ツール	備考
GAP (Generic Access Profile)	○	○	
SDAP (Service Discovery Application Profile)	○	○	
SPP (Serial Port Profile)	○	○	
DUN (Dial-up Networking Profile)	○	○	
OPP (Object Push Profile)	×	○	
FTP (File Transfer Profile)	×	○	追加
PAN (Personal Area Network Profile)	×	○	追加
HSAGP (Headset Audio Gateway Profile)	×	○	追加

※Bluetooth1.2 規格では LAN プロファイルをサポートしていないため、本機では LAN プロファイルをサポートしません。

※Bluetooth アクセスポイントを使用する場合は、PAN プロファイルに対応した製品を使用してください。

■ Bluetooth V1.2 機能

Bluetooth モジュールおよびプロトコルスタックが V1.2 規格に対応することにより、以下の機能が追加されます。

- AFH (Adaptive Frequency Hopping) 機能
周波数ホッピングチャンネルを選択することで、他のシステムに占有されているチャンネル (IEEE802.11b/g 無線 LAN など) を避けて使用する機能
- Faster Connection 機能
デバイス探索や接続をする際のホッピングおよび応答手順を変更し、接続時間を短縮する機能

■ Bluetooth ヘッドセット対応

ヘッドセットプロファイルをサポートすることにより、Bluetooth ヘッドセットと接続することが出来るようになります。

また、上記 AFH 機能と併用することで、内蔵無線 LAN との干渉が軽減され、VoIP などの使用が可能となります (Bluetooth ヘッドセットも AFH 機能をサポートしている必要があります)。

3.2 フォント

フォントは、容量削減のため従来の MS ゴシック & MS P ゴシック & MS UI Gothic のサブセットに変更されており、フォントサイズによっては、従来の DT-5100 に比べ見難い場合がありますので、注意してください。10p、12p 又は 18p 以上ですと、同等に表示されます。
最終項にて、参考資料として各サイズのフォントを表示した際の違いを掲載します。

3.3 Service Pack2 等のアップデートファイルの OS 取込

2004 年 6 月の現時点で DT-5100 には ServicePack2 と Patch004 まで存在します。DT-5100SA の OS には、これらのサービスパックとアップデートファイルを取り込み、ROM 化し RAM の容量削減を行っています。

3.4 Application Program (Casio Original Application) / TOOL

本機には、Microsoft アプリケーションの他に CASIO 専用のアプリケーションを ROM 内に搭載しています。本節では、DT-5100 と異なる部分についてのみ説明します。共通の項目については、DT-5100 ソフト機能解説書を参照して下さい。

■ Bluetooth 接続ツール

本体の Bluetooth 設定のほか、他の Bluetooth 機器の探索および接続をするためのツールです。
※Bluetooth 接続ツールの詳細については、「DT-5100 アプリケーション機能解説書」を参照してください。

■ 復旧ツールとインストーラ

従来復旧ツールは、ServicePack をインストールすることにより使用可能でしたが、ROM 化をしました。
復旧ツールを使用する場合は、まずスタート→プログラム→ユーティリティ→自動復旧ツールインストールを実行すると、¥FlashDisk¥CASIO に Restore のショートカットが作成されます。
※詳細については、「DT-5100 アプリケーション機能解説書」を参照してください。

3.5 参考資料

従来の DT-5100M50 シリーズと DT-5100M50SCA でのフォントによる表示の違いを、以下に示します。

<DT-5100M50 シリーズ>

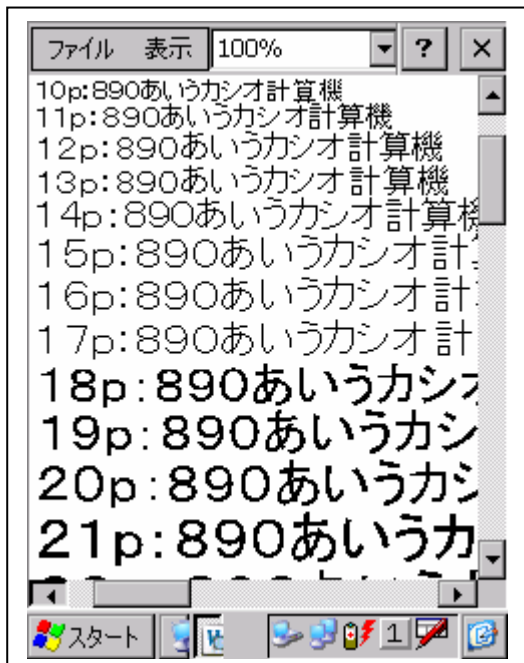
<DT-5100M50SCA>



(MS ゴシック)



(MS ゴシック)



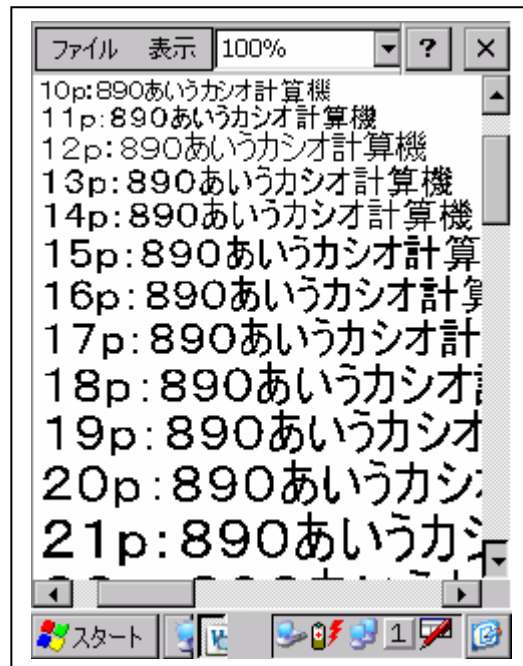
(MSP ゴシック)



(MSP ゴシック)



(MS UI Gothic)



(MS UI Gothic)

DT-5100

Difference between

M50SCA and M50SC

Ver1.00

発行元：カシオ計算機株式会社

〒162-8543

東京都渋谷区本町 1-6-2

システムリユージョン営業統轄部

TEL:03-5334-4638